

極点処理結果→汎用テキストファイル変換ソフト

P F t o O D F ソフトウェア

Ver4.16M

2016年09月21日



HelperTex Office

<http://www.geocities.jp/helpertex2>

修正

Ver. No. 1.18 (2006/07/27)

指数指定時、'0' で始まる指数は '0' が除かれてしまう。修正済

Ver. NO. 1.42 (2007/03/30)

TexTools 対応 測定されていない領域の強度を 0. 0 とする。

Ver NO. 1.47 (2007/05/14)

極点図の対称操作を可能とした。(1 / 2、1 / 4)

VerNO 4.128Z1 (2012/06/10)

管理変更に伴い、バージョン変更を行う。

Ver4.13Y(2013/06/13)

主要な文字サイズを 1 1 → 1 2、ODF 向け極点図の回転方向明示(CW,CCW)

入力極点図の先頭から極点図指数取り込み

Ver4.14Y(2014-02-18)

Icon 変更

概要

極点処理結果をリガク以外のデータ処理で処理する場合、外部データ処理で読み込めるフォーマットに変換する必要があります。

本ソフトウェアでは、標準的なフォーマットとL a b o T e x、S t a n d a r d O D F、T e x T o o l s フォーマットをサポートしております。

本ソフトウェアの入力データはリガク極点データ処理で規格化を行ったバイナリデータをユーティリティでテキスト変換したデータを扱います。

フォーマット

O u t s i d e フォーマット

極点図の外側から、横に β 、縦に α 、碁盤の目のように並べたフォーマット

極点図RDから反時計方向データ

データの区切りはカンマ

読み込んだデータと同じディレクトリに作成

I n s i d e フォーマット

極点図の内側から、横に β 、縦に α 、碁盤の目のように並べたフォーマット

極点図NDから反時計方向

データの区切りはカンマ

読み込んだデータと同じディレクトリに作成

L a b o T e x フォーマット (L a b o S o f t 社、ポーランド)

* . e p f フォーマット出力

複数の極図形を1つのファイルに纏めたフォーマット

極点図NDから時計方向 (CW)

読み込んだデータと同じディレクトリに作成

S i e m e n s

S i e m e n s フォーマット

極点図NDから時計方向

読み込んだデータと同じディレクトリに作成

S t a n d a r d O D F

大阪大学井上先生のODFで読み込めるフォーマット

変換したテキストデータは C:\YODF\YPPFDATA に作成する。

T e x T o o l s (R e s M a t 社、カナダ)

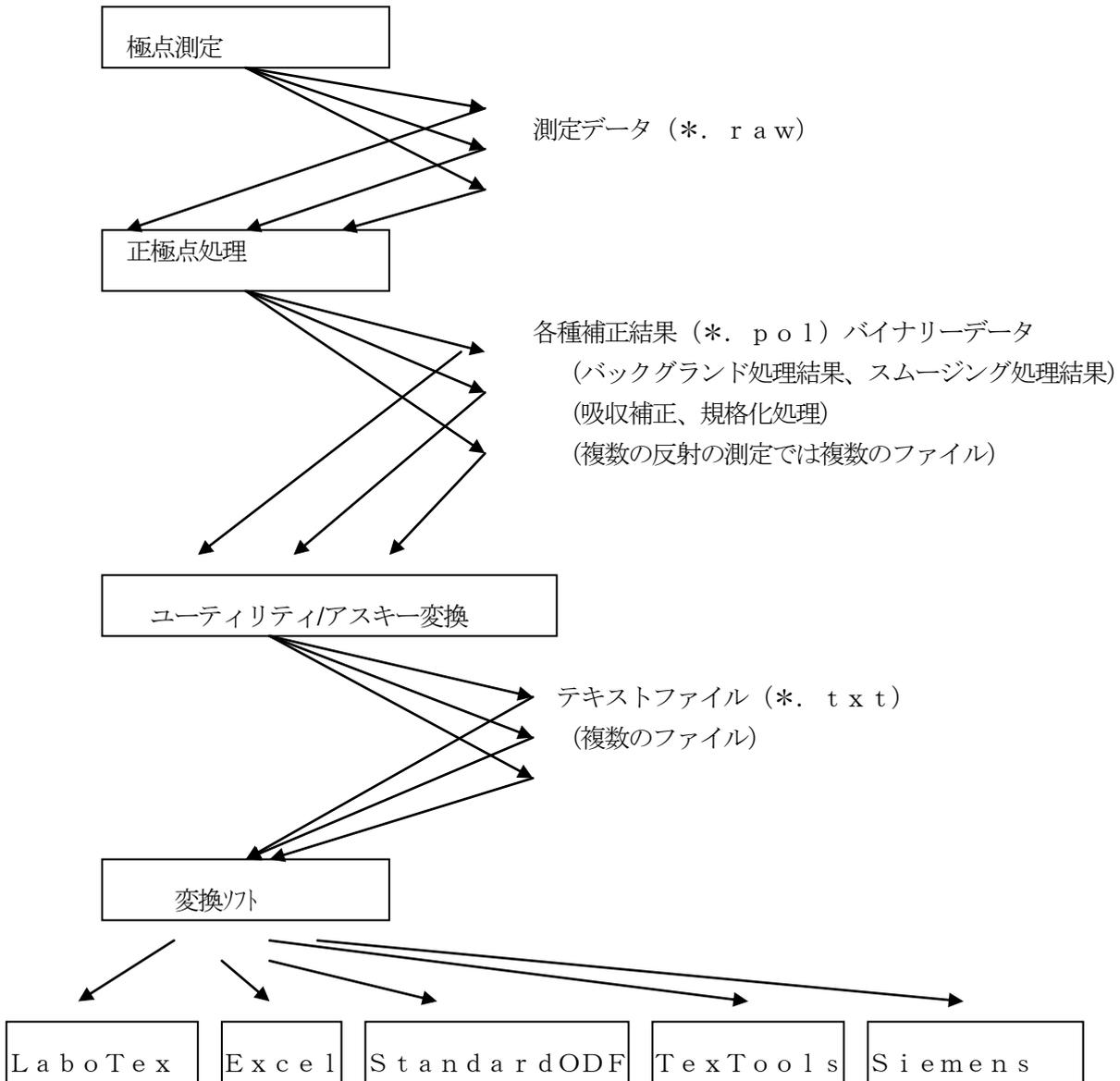
R e s M a t 社のT e x T o o l s で読み込む、* . p o l データに返還

読み込んだデータと同じディレクトリに作成

フォーマット切り替えはO p t i o n メニューで切り替えます。

画面表示はL a b o T e x 用になっています。

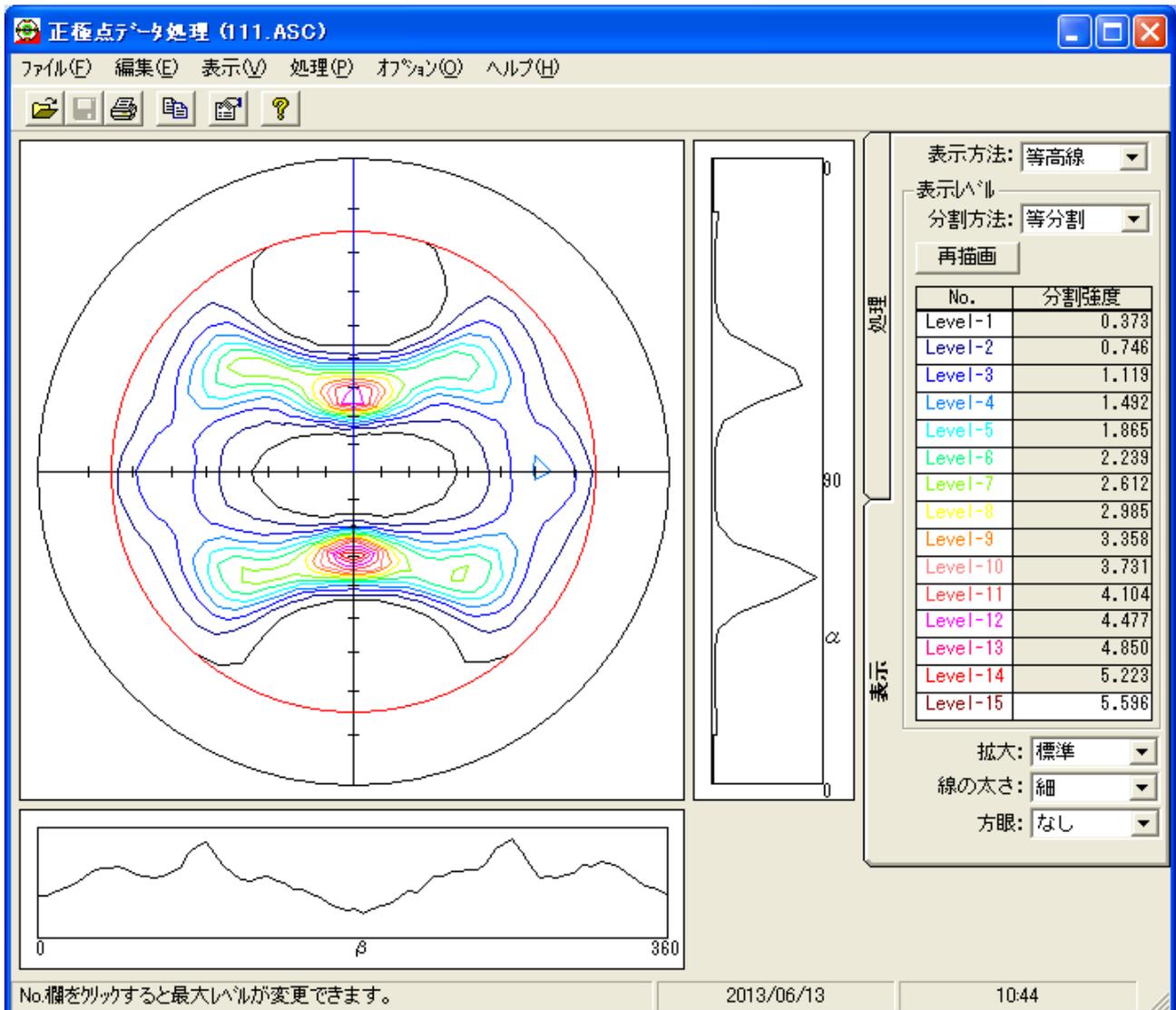
処理の流れ



対称ソフト	入力ファイル		出力ファイル	ファイル	
LaboTex	縦一列	複数	単一	同じディレクトリ	labotex.epf
StandardODF	縦一列	複数	複数	C:\¥ODF¥PFDATA	入力ファイル名+ODF.txt
TexTools(pol)	縦一列	複数	複数	同じディレクトリ	入力ファイル名+n.pol
TexTools(text)	縦一列	複数	複数	同じディレクトリ	入力ファイル名+n.txt
Siemens	縦一列	複数	単一	同じディレクトリ	Leuven.txt
Excel(Inside)	縦一列	単一	単一	同じディレクトリ	Inside.txt
Excel(Outside)	縦一列	単一	単一	同じディレクトリ	Outside.txt

変換後のファイルの-nは0から順番に付けられます。

正極点操作方法



各種処理結果をファイル出力する。



111. polとしてファイルされます。

同じように200. pol、220. pol、311. polもファイル出力します。

アスキー変換操作方法

極点処理結果はバイナリファイルとして登録されています。

上記処理方法

汎用アスキー形式

入力ファイルは正極点処理結果ファイル

改行文字は Windows/DOS形式

区切り文字は カンマ

分割データは 縦一列出力

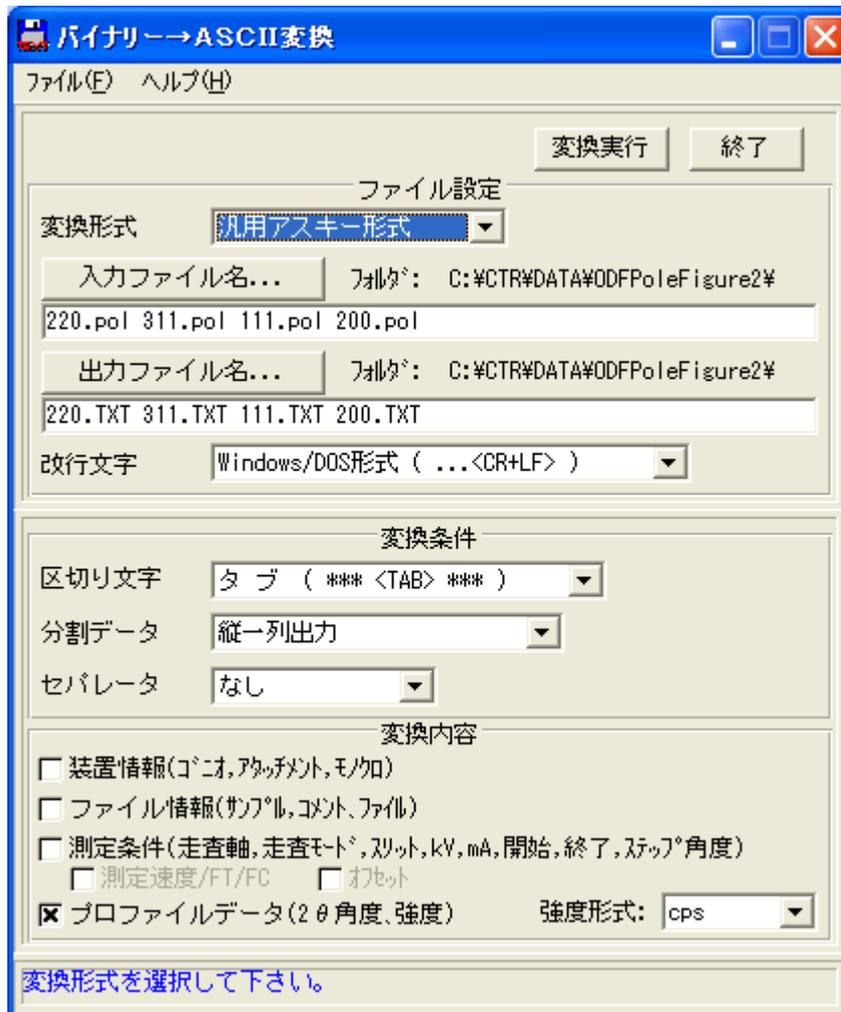
セパレータは なし

プロファイルデータ (2θ 角度、強度) を選択

強度形式は cps

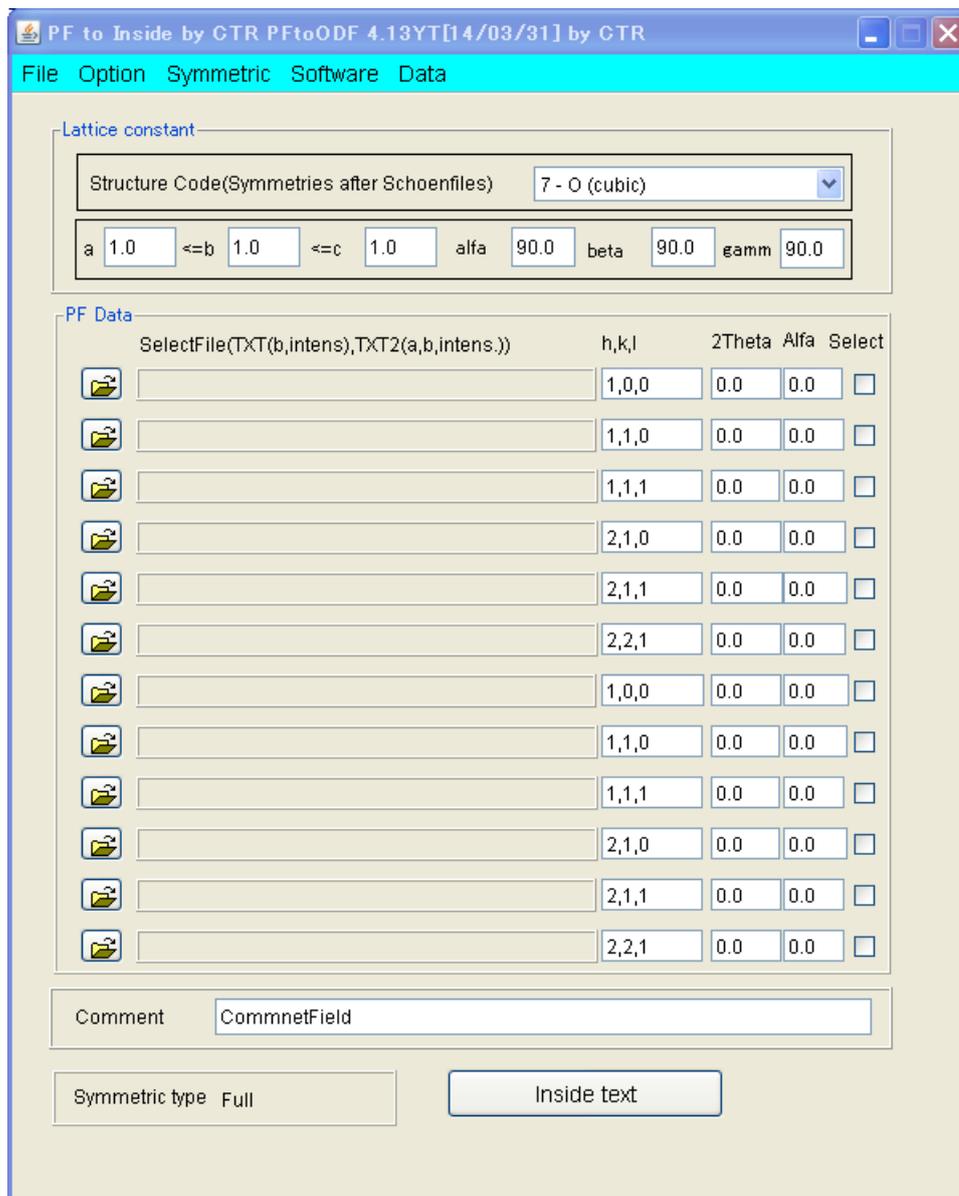
で変換実行します。

テキストデータは同一のディレクトリに作成してください。



変換ソフトの操作方法

ソフト起動画面



L a t t i c e c o n s t a n t 部分は 処理対象物質情報を入力

正極点処理結果ファイルはPF D a t a の左端のファイル選択で指定

複数のファイル選択が可能

選択した極点データに対応するHKL, 2θ 角度、 α 開始角度を入力し、選択のチェックを行います。

常に同じ条件でファイル変換を行う場合、メニューF i l e - C o n d i t i o n s a v e を行います。

Save して置くと、変換ソフト起動時にパラメータが自動入力されます。

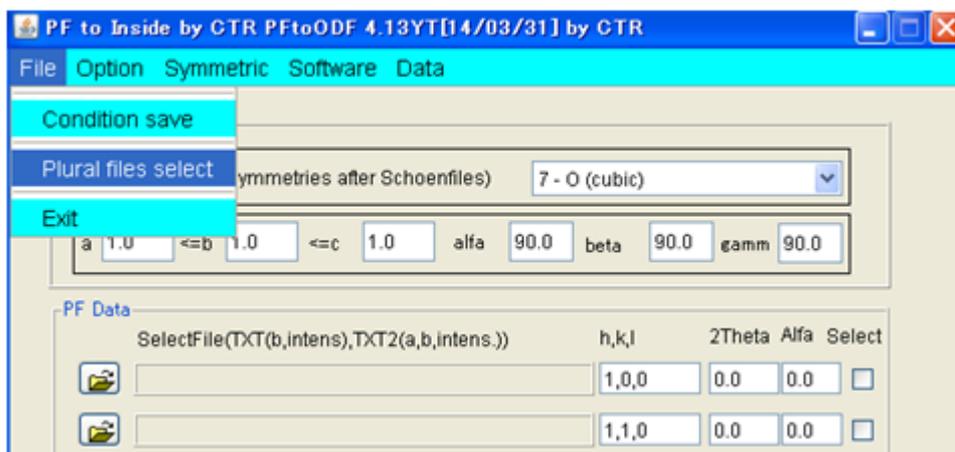
指定できるファイルは正極点処理した結果ファイルをテキスト変換したデータで

測定条件としては、

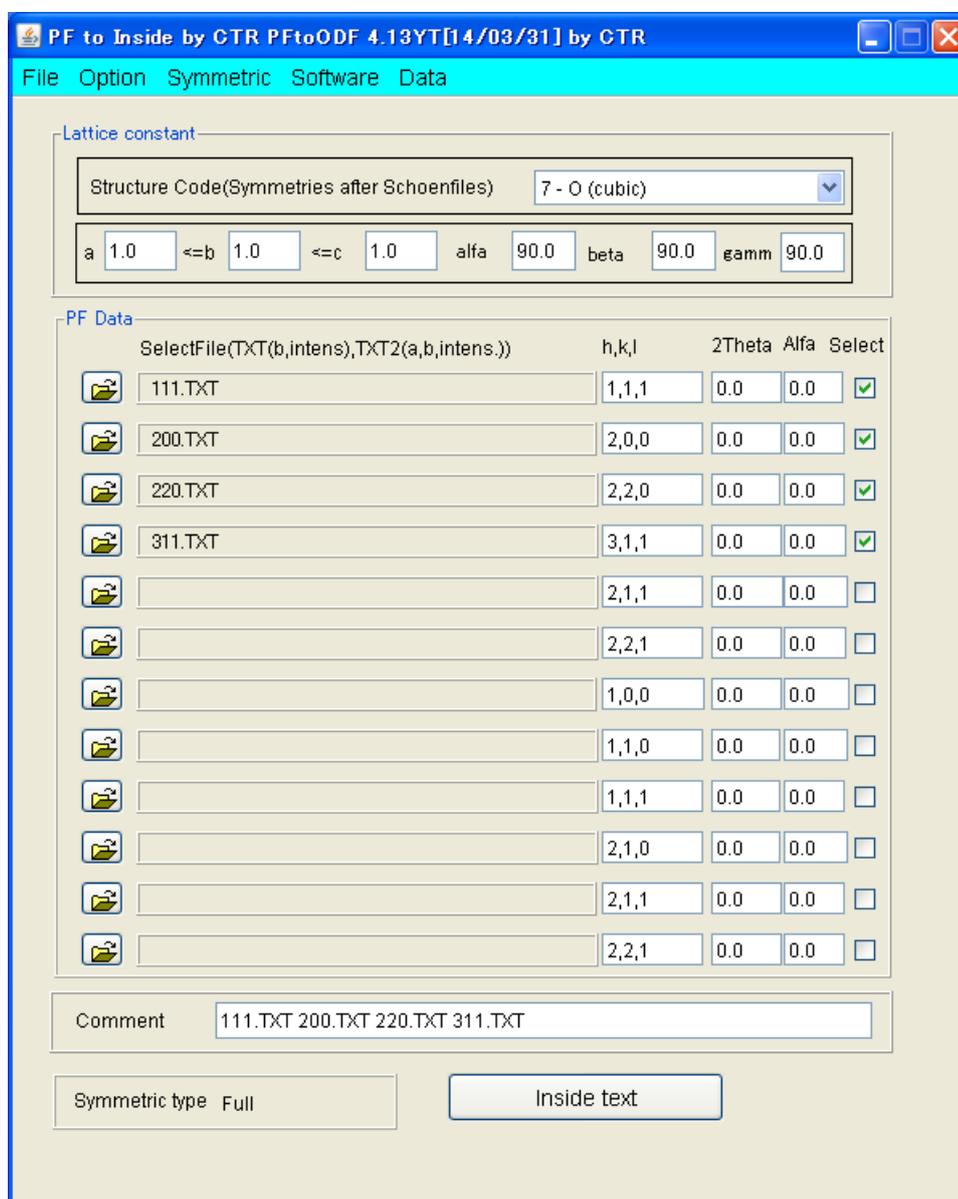
β 軸 (面方向) は0度から360度、測定間隔は5度

α 軸 (あおり方向) は外側から中心まで、測定間隔は5度

に限定しています。



複数のデータを選択



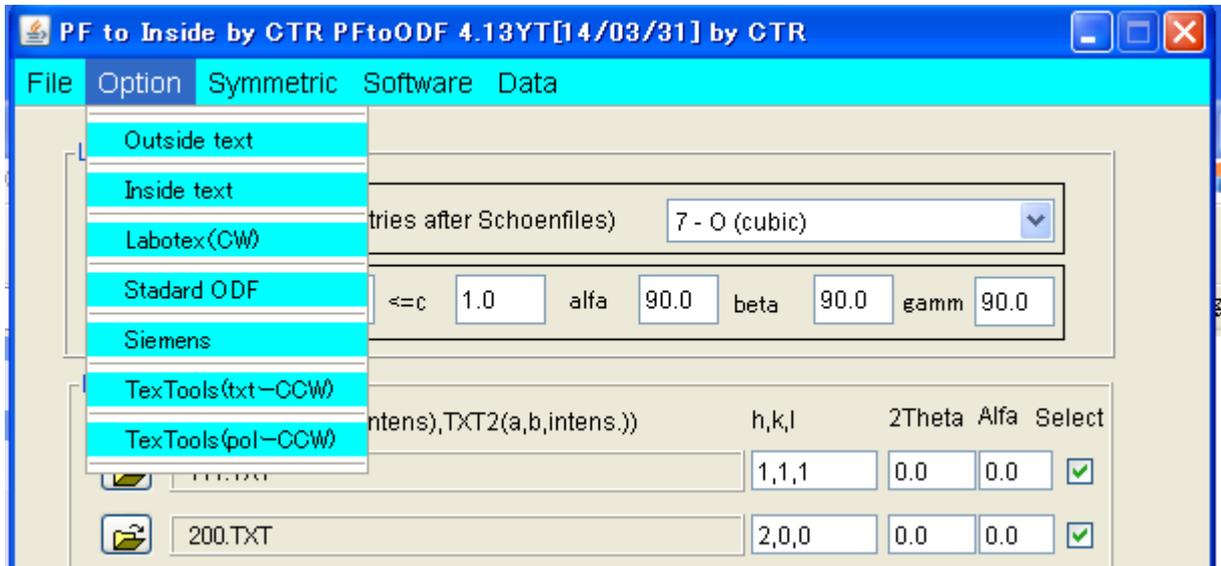
メニュー部のOptionにはODF形式が指定出来ます。

サポートされているODF

LaboTex

StandardODF

TexTools

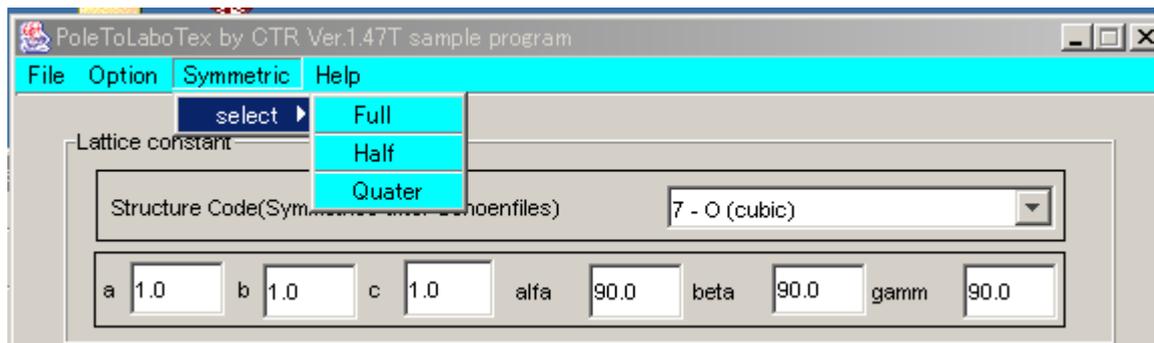


メニュー部のSymmetricは、対称操作で

Full 対称操作なし

Half 1/2対称操作

Quarter 1/4対称操作が行なわれます。

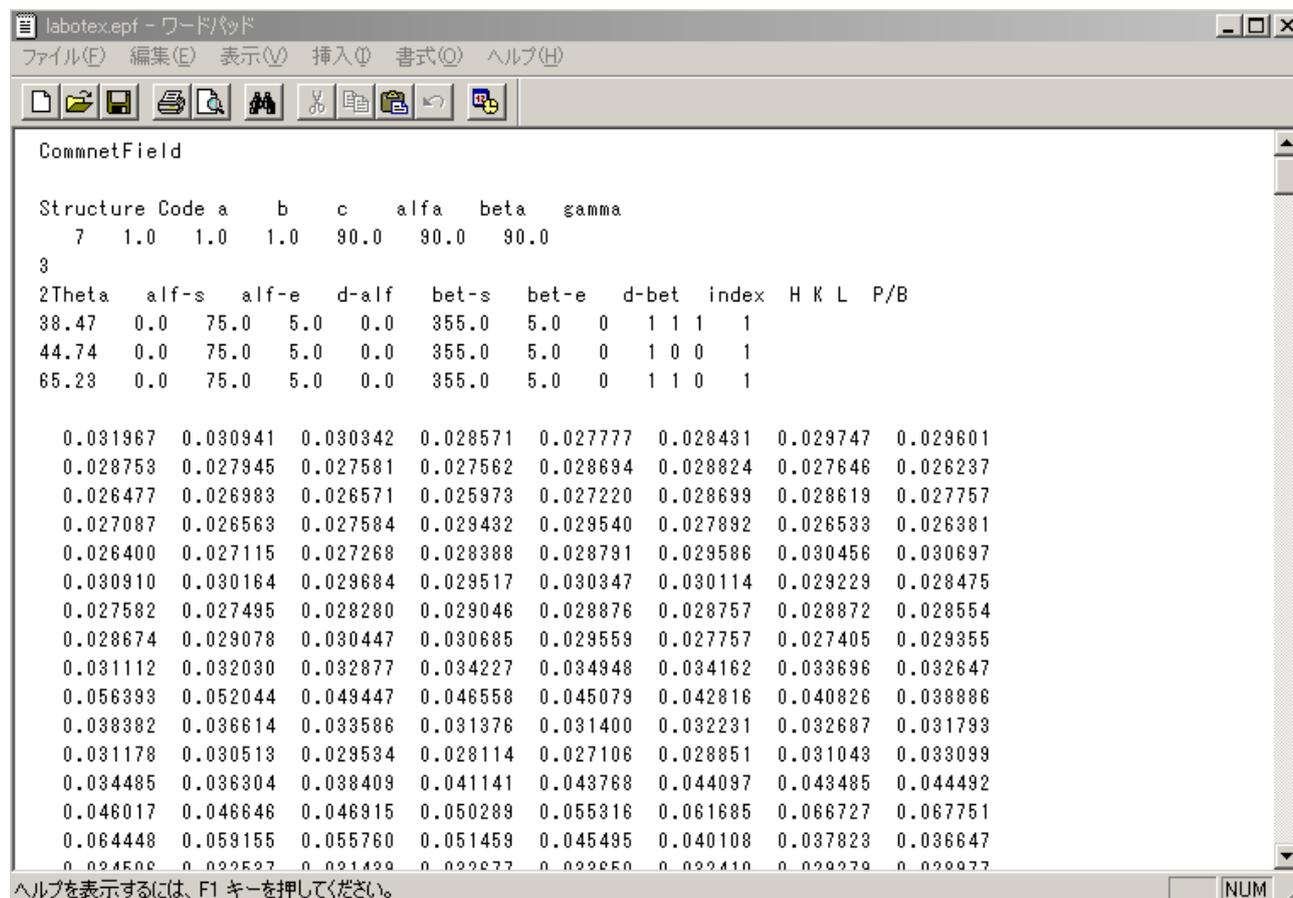


ファイル指定は必ずファイル選択画面から入力してください。

Comment 部はテキスト変換したファイルの先頭に書き込まれます。

laboTex用のファイルは E p f file save のボタンを押すことで
テキストデータを選択したディレクトリに labotex.epf ファイルを作成します。
ファイル作成と同時に ワードパット上に表示します。

ワードパッド表示画面



変換されたテキストファイルは変換前の入力データのディレクトリに決められたファイル名で作成されます。

ファイル名の変更はワードパッドで新たにファイルを作成してください。

wordpadバージョン5.1以降では*.epfで出力出来ますが、5.1以前の場合は

*.epf.txtになります。後からファイルの変更を行ってください。